



フェアウェルパーティーの後に全員で

**丹羽 菜月 (鴻巣西中学校)**

オーストラリア海外派遣での経験は、文化、習慣、言語などすべてが新鮮で、貴重なことばかりでした。この8日間の経験を今後、将来に生かしていきたいと思います。

**日下 温太 (鴻巣西中学校)**

私はこの海外派遣を通じて、現地の人々と交流し、たくさんの貴重な経験を積むことができました。支えてくださった皆さん、ありがとうございます。

**朝倉 杏海 (鴻巣西中学校)**

今回の海外派遣で自分の夢へと大きな一歩を踏み出すことができました。そして何より現地の方々の温かさに支えられた8日間でした。感謝を忘れずに今後も精進していきます。

**金子 虹菜 (鴻巣南中学校)**

不安と緊張で始まった海外派遣でした。しかし、共に学んだ仲間たち、現地の生徒、そしてホストファミリーと仲良くなることができ充実したものになりました。とても良かったです。

**山川 恵 (鴻巣南中学校)**

海外派遣の8日間は私を前進させてくれるものでした。この体験でホストファミリーや現地の人からいただいた知識や英語力、そして人との関わりを発展させ、力にしていきたいです。

**指田 真鈴 (赤見台中学校)**

最初は不安しか頭にありませんでしたが、ホストファミリーの方々とコミュニケーションをとっていくうちに不安も消え、とても充実した8日間を過ごすことができました。

**関口 琢朗 (赤見台中学校)**

多くの人々と接し、文化の違いを学んだ初めてづくしの充実した8日間でした。これから日本でたくさん勉強し、ひと回り大きくなって、またオーストラリアを訪れたいです。

**松本 祐華 (赤見台中学校)**

国は違うけど人の温かさは変わらないことや何事も挑戦する大切さを学びました。一生忘れることのない貴重な体験は私の宝物です。多くのご支援に感謝し将来に生かしたいと思います。

**澁谷 剛生 (赤見台中学校)**

この海外派遣では、外国の方とたくさん会話でき、オーストラリアの自然文化も学ぶことができました。そして、すばらしい仲間たちと出会えたことに感謝します。

**佐藤 摩征 (吹上中学校)**

今回の海外派遣で英語の苦手な私も積極的にコミュニケーションをとることでホストファミリーの方々と話すことができました。今回学んだことを生かしていきたいです。

**深野 真菜美 (吹上中学校)**

ホストファミリーをはじめ、高校の先生、生徒など国を越えた出会いは、私にとって、一生の宝物となりました。今後、さらに語学力を身に付け、自然と会話ができるようになりたいです。

**伊比 陽人 (吹上北中学校)**

この海外派遣で、英語でのコミュニケーションに自信がつけました。バディやホストファミリーとの日々はとても充実していました。この経験を今後に生かしていきたいです。

**小貝 遥 (吹上北中学校)**

今回の海外派遣では、さまざまなことに挑戦し、自分自身を大きく成長させることができました。オーストラリアでの新たな友達との出会いや経験を将来に生かしていきたいです。

**城島 龍大 (川里中学校)**

今回の海外派遣では、不安も多少あったけど、充実した8日間を送れ、海を越えた友達もできて、本当に良かったです。支えてくださった皆さん、ありがとうございます。

**宮田 涼香 (川里中学校)**

たくさんの方に支えられ、チャレンジする事の大切さ、人々の温かさへの感謝、英会話の楽しさを学んだ8日間でした。この素晴らしい経験を多くの仲間や後輩に伝えたいです。

**『鴻巣市子ども教育ゆめ基金』にご協力ください**

この基金は平成20年に創設し、市内の小・中学校における子どもたちの国際理解教育事業を支援していただける多くのの方々や事業者からの寄附金を積み立て活用するものです。

「鴻巣市立中学校生徒海外派遣事業」は、海外の社会、文化、自然等に触れ、世界に貢献する日本人の育成を目的として、平成5年度から実施しています。本年度は20人の生徒をオーストラリアに派遣し、本基金を財源として活用させていただきました。基金の趣旨をご理解いただき、皆さんのご協力をお願いします。



平成27年度

## 鴻巣市立中学校生徒海外派遣



7月26日から8月2日までの8日間、オーストラリアのポーカムヒルズ高校（シドニー近郊）での英語の授業及びホームステイを体験しました。この事業は、皆さんからいただいた「鴻巣市子ども教育ゆめ基金」を活用し、次代を担う中学生が豊かな国際感覚をもち、国際社会の一員としての自覚を身に付けることを目的としています。問い合わせ／学校支援課指導担当（内線72536）

### 海外派遣の感想

派遣団長 服部 幸司（学校教育部長兼学務課長）

「EVERY DAY IS A GREAT DAY AT BAULKHAM」  
（ボウコでは、毎日が素敵な日だ。）  
黄色と緑のオーストラリア色で彩られた看板に迎えられて、ポーカムヒルズ高校での英語授業を中心とした研修が始まりました。

英語を担当する先生は、ジョー・ヘルグ先生、身長191cm、体重130kg、K・1選手のような肉体。真冬なのに、半袖に七分ズボン。生徒とのやりとりで熱が入ってくる、額に汗。子どもが本当に好きで、教えることと同じくらい学ぶことが好きな先生でした。

20人の生徒たちには、ジョー先生との出会いに加え、ホームステイ先での「感動」がありました。さまざまな体験を通してオーストラリアの生活習慣や文化も学び、仲間との絆を深めたことでしょう。生徒たちの更なる活躍を期待しています。このような機会を与えてくださった市民の皆さんや事業者の方々には心より感謝申し上げます。

松田 采芽（鴻巣中学校）

私は、この海外派遣で、言葉や文化の壁を越えることで、自分を成長させることができました。今後も、

オーストラリアで出会った方々との交流を続けていきたいです。

加藤 紗英（鴻巣中学校）

ホストファミリーや友達と出会い、たとえ国を越えても人の温かさは変わらないということを感じました。これらの貴重な経験を一生の思い出とし、これからは生かしたいと思います。

網川 雛世（鴻巣北中学校）

今回の海外派遣は、私にとって、新鮮な驚きの連続でした。さまざまな文化などに直接触れ、私の中の世界は大きく広がりました。内容の濃い、素晴らしい8日間でした。

高澤 周斗（鴻巣北中学校）

果てしなく広がる終わりのなき海を見て、「世界」というものが、私の想像を遥かに超えていることがわかりました。ホストファミリーや仲間から受けた親切をずっと忘れません。

佐々木 杏菜（鴻巣西中学校）

この8日間で海外のすばらしさを感じ、また文化の違いを学ぶことができました。今回の経験により視野が広がり、将来に生かしていきたいです。ありがとうございました。



オリエンテーション